

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

10月21日(土) 長浜の祭りと芸能をアピール

市内の多彩な伝統芸能を披露するため、今年が初めてとなる催し「長浜の祭りと芸能2017」が開催されました。

びわ北小学校6年生の児童による富田人形、長浜曳山祭のしゃぎり、子ども歌舞伎教室受講生による歌舞伎や下余呉の太鼓踊りの計4団体が出場しました。訪れた人たちは、大人顔負けの優美な演奏や迫力のある演技、踊りに感心している様子でした。



10月27日(金) 人気声優・山口勝平さん長浜のPR役に

人気テレビアニメの声優を務める山口勝平さんに「長浜市声の観光大使」を委嘱しました。

山口さんは、「長浜城から見る琵琶湖の眺めは最高。今後は大使としてどんどん発信していきます」と力強くあいさつ。

今後は、長浜観光PRキャラクターの「ひでよしくん」の声を担当していただくなど長浜のPRに一役買っていただきます。

10月28日(土) クラシックな装いで長浜を楽しむ

中心市街地のきいなパークをメイン会場に、ツイードピクニック長浜2017が行われました。

ロンドン発祥の「ツイードラン」をヒントに、長浜の新たな賑わいになればと、市内の洋服店などが企画し、今回で2回目の開催となりました。

あいにくの雨でしたが、個性豊かなツイードファッションに身を包んだ参加者たちは、写真撮影や自転車談義を楽しみました。



10月28日(土)・29日(日) 異文化交流 あつまれ地球人!

外国人住民と交流しながら、様々な国の文化に触れるイベント「インターナショナルフェスタ」が臨湖で開催されました。

今年初めて行われた前夜祭では、カラオケ大会やソーラン節ワークショップなど、本日にはステージイベントや異文化を楽しめる体験ブース、世界の料理が味わえる屋台など催しが盛りだくさん。多くの国々の人が出会い、理解を深めて友達になれる素晴らしい機会となりました。

長浜市公式 SNS

- 市民開放型公式 Instagram「# みんなのちよびっく」をはじめました。長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿していただくと、市公式 Instagram アカウントでご紹介。詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページ「長浜市ほっとにゆへす」で詳しく見ることができます。



▲市ホームページ



▲長浜市ほっとにゆへす

11月4日(土) 鏡岡中学校に6,151人のありがとう

来年3月に閉校する鏡岡中学校の創立70周年・閉校記念式典に、全校生徒や保護者、卒業生などおよそ300人が集まりました。

参加した生徒は、「この校舎とお別れするのは寂しいですが、これからも地域に貢献することで感謝の気持ちを伝えていきたい」と語りました。

生徒たちは、来年4月から県内初の施設一体型義務教育学校の余呉小中学校で新たなスタートを切ります。



11月11日(土) 戦争のない平和な世界を

「長浜市平和祈念式典」が湖北文化ホールで開かれ、戦没者の遺族や市内小中学生、関係機関など287人が出席しました。

遺族会会長は、「平和を守り、次の世代につないでいきたい。戦没者の心やすらかならんことを祈ります」と追悼の辞を述べました。また、虎姫中学校の生徒による戦跡訪問事業の感想文発表や、平和を願う合唱や曲の演奏があり、一人ひとりが戦争の悲しみ、平和への思いを胸に刻みました。

11月11日(土) 子どもたちの心に生きる芳洲の教え

富永小学校の全校児童は、毎年郷土の先人・雨森芳洲の生涯をミュージカルで演じ、その優れた思想を学んでいます。今年は、雨森芳洲関係資料がユネスコ世界の記憶に登録されたこともあり、演技にも熱が入り、観客から惜しみない拍手を受けていました。

「互いに欺かず、争わず、真実をもって交わること」と説いた芳洲の精神が今も子どもたちの心に息づいています。



11月12日(日) 地元の恵みを楽しむ秋の一日

奥びわ湖水の駅塩津海道あちかまの里で「水の駅まつり」が開催されました。

鮎の塩焼きやぜんざいなど各種模擬店が軒を連ねたほか、鴨入り千人鍋や焼きいもが振舞われるなど、訪れた人たちは豊富な地域の味覚を楽しみました。

民謡や歌謡曲、地元中高生バンドによるライブや、子どもが楽しめるゲームコーナーなども人気を博しました。